

田中正義先生記念号によせて

田中正義先生は昭和五十年三月をもって、立教大学を定年退職されました。先生は昭和七年三月、東京帝国大学文学部西洋史学科を卒業され、同学部大学院で学ばれた後、高知高等学校教授、姫路高等学校教授、神戸大学教授を経て、昭和三十三年四月、招かれて本学教授に就任し、経済学部勤務されました。以来定年退職されるまで、十七年にわたって本学、とくに経済学部の発展につくされました。

先生が経済学部にくられた頃は、学部の専任スタッフもまだ二十数名で、学部としての本格的な充実、発展はこれからという時期でありました。そうした中で、先生は学部および大学院の経済史の講義を担当され、長年にわたって多くの学生を教育し、また後進の指導にあたられました。先生の広く深い学殖と、飽くことを知らない学問への情熱、寸毫をも忽せにしない厳格な学風は、先生に接するすべての人びとに、つよい感銘と啓発をあたえました。

先生はまた昭和三十八年四月から二年間、経済学部長、大学院経済学研究所委員長の任につかれ、困難な状況の下で、学部および研究科の教育、研究条件の整備、充実のためにつくされました。

先生は、申すまでもなく、わが国におけるイングラッド中世経済史研究のパイオニアであり、指導者であって、その御研究における実証の緻密さと論理構成の堅固さについては、つとに定評のあるところであります。この学問上の業績によって、先生は昭和三十五年三月経済学博士の学位を受けられました。

先生は昭和三十六年、全国に散在する若手研究者によびかけて、「イギリス中世史研究会」を組織され、現在にい

たるまでその主催者として後進の指導につとめておられます。このグループに属する研究者の発表した論文総数が一〇〇篇を越え、著書、訳書は一〇篇に及ぶという事実は、先生のかくれた学界への貢献の大きさを物語るものであります。

なお、この研究グループが数次にわたる文部省科学研究費交付金によって購入、蒐集した一、〇〇〇点に上る貴重な文献のコレクションは、先生の定年退職にあたって、一括して本学の図書館に寄贈されたと承っております。

立教大学は昭和五十年六月、先生の長年にわたる教育上、学術上の特に顕著な功績にたいして、先生に名誉教授の称号を贈りました。

私たちは、先生の定年退職にあたり、先生の本学、とくに経済学部への貢献と御指導とにたいする感謝の気持ちをあらわすために、また古武士のように高潔で、少年のように純情な先生のお人柄を偲ぶよすがとして、本号をもって先生の記念号といたしました。

先生は定年によって本学の専任を解かれることになりましたが、私たちとしては、先生にいましばらくの間非常勤講師として御足労をお願いしております。これからも先生がますますお元気で活躍され、私たちのために御指導下されますようお願い申し上げる次第です。

昭和五十年十一月

経済学部長

広

田

純